



①さあ、試合開始です！②応援にきた子ども達も大喜び③ラリーが続きます④接戦のなか逆転優勝⑤やったー連続得点⑥白熱した戦い⑦賞状とトロフィー、賞品が贈られました⑧閉会式の様子⑨青空の下、白球が飛びます！

①青葉がそよぎ、あじさいが雨粒に輝く季節。
②応援にきた子ども達も大喜び。
③ラリーが続きます。
④接戦のなか逆転優勝。
⑤やったー連続得点。
⑥白熱した戦い。
⑦賞状とトロフィー、賞品が贈られました。
⑧閉会式の様子。
⑨青空の下、白球が飛びました。

6月4日

美並・志士庫球技大会

【ソフトボールの部】

優勝：男神・牧ノ内チーム 準優勝：深谷二チーム
3位：志士庫パパさんズチーム、深谷下郷チーム

【ソフトバレーの部】

優勝：大和田Bチーム 準優勝：深谷チーム
3位：男神・牧ノ内チーム、東宝ランドチーム

6月25日 佐賀・安飾球技大会

【ソフトボールの部】

雨天により中止

【ソフトバレーの部】

優勝：北ノ坊チーム 準優勝：安食東チーム
3位：柏崎チーム 4位：北前原チーム

6月11日 牛渡球技大会

【ソフトボールの部】

優勝：浜チーム 準優勝：有河・柳梅チーム
3位：下郷チーム、上郷チーム

【バレーの部】

優勝：兵庫峰チーム 準優勝：上郷チーム
3位：根山チーム、下郷チーム

7月2日 下大津球技大会

【ソフトボールの部】

優勝：赤塚チーム 準優勝：崎浜チーム
3位：松本チーム、御殿チーム

【バレーの部】

優勝：大前チーム 準優勝：崎浜チーム
3位：内加茂チーム



~フォトアルバム～
生涯学習課 HP

えせひろば

詠歌の紹介

千代田俳句同好会

梅雨の蝶追ひうおはれつ戯れり
湖の風存分に受け夏柳
古寺の留守の本堂梅雨墨り
大寺へ青葉の闇をかひぐり
百疊の寺の本堂緑さす

紫陽花俳句会

梅雨寒やすかさずはおる袖袂
梅雨寒やひねもす本に囲まれて
麦秋の風こげくさし雨きさす
葭の中風とたわむる行々子

出島短歌会

蓼科の白樺こみち駆けぬける馬と私と空行く雲と
筑波から眺むる先は春霞かすかに浮かぶ白き富士山
遠い国西へ西へと旅立ちぬ染まる夕日に姉の背は消ゆ
春霞如露に浮かべる花びらは最後の水を細く流しぬ
したためしお見舞たより金魚かな

投稿作品

馬鈴薯を掘る手休めて汗ぬぐう梅雨の晴間に卯の花匂う
ソロッコの砂丘のはるか地平より陽は昇りゆくサハラの大地に
泣きたゞ時は胸を貸すよと戯言を言った人が先に旅立つ
爺ちゃんは箸より重い团扇手に

須崎三代子
仲谷香代子
名倉観子
飯島ヒロエ

沽野はづ子
石塚清
中島良平
菅谷啄子
やまくちさむ
扶美世

▶投稿作品(俳句・短歌・川柳)を募集しています。8月2日までに情報広報課(〒300-0192 大和田562番地)へお願いします。
なお、応募多数な場合には掲載されない場合がありますのでご了承ください。

ワカサギ

海跡湖とうカサギ

5月号の「ゴイ」の記事で紹介したように霞ヶ浦は昔海でした。このように海であつた水辺が、外海から閉ざされてできたり立ちこそが、ワカサギの生息に大きくなっています。

ワカサギはキツアリウオ目

ワカサギは、魚類分類上キツアリウオ目に属し、シシャモと同様に遡河回遊型といつて、河川で孵化した後に海で成長し、再び産卵のために河川に上る魚です。しかし、海との往来が閉ざされたワカサギは、淡水の中だけで一生(河川残留型)を過ごすこともでき、霞ヶ浦のワカサギは湖の中だけで生涯を終えるものであります。つまり、海跡湖である霞ヶ浦ならではのワカサギといえるでしょう。



ワカサギ

「公魚」と書く理由

江戸時代の霞ヶ浦の魚の保存方法は、鮮魚を煮るか焼くかする程度であったといいます。焼ワカサギは、代表的なもの

かすみがうら市のジオ食

日本ジオパーク認定記念！

筑波山地域ジオパーク

シリーズ④

で、麻生藩主の新庄氏が江戸幕府の將軍徳川家光に献上したことにより有名になりました。

なり、公方様(将軍様)に献上する魚と一緒に運ばれていました。川柳に「ワカサギは高瀬舟で利根川を通って、米・薪炭・醤油と共に焼ワカサギが土浦から大量に運ばれていました。川柳に「ワカサギは焼かれてまでも「木刺」と江戸の武士にも大変喜ばれていたようです。

五十集屋とワカサギ

昭和時代に五十集屋と呼ばれた水産加工業者が、霞ヶ浦の佃煮発祥の地であり、各五十集屋には所属する漁師が決まっていました。帆引き船の最盛期となり、麻生地区には30軒、出島地区には20軒、玉造地区には15軒、美浦地区に10軒、土浦に20軒で合わせて全部で95軒、江戸時代の霞ヶ浦の魚の保存方法は、鮮魚を煮るか焼くかする程度であったといいます。焼ワカサギは、代表的なもの

で、麻生藩主の新庄氏が江戸幕府の將軍徳川家光に献上したことにより有名になりました。公方様(将軍様)に献上する魚と一緒に運ばれていました。川柳に「ワカサギは高瀬舟で利根川を通って、米・薪炭・醤油と共に焼ワカサギが土浦から大量に運ばれていました。川柳に「ワカサギは焼かれてまでも「木刺」と江戸の武士にも大変喜ばれていたようです。

13 | かすみがうら

12